

令和元年度の活動について

令和2年2月14日（金）

御嶽山火山防災協議会

令和元年度 活動報告 (御嶽山火山防災協議会の取組)

年月日	内 容	会 場
H31. 4. 25	○事務局会議 ・年間活動予定について	木曽合同庁舎 (木曽町)
R1. 5. 23	○事務局会議 ・火山防災訓練について ・立入規制の緩和(木曽町)について ・噴火警戒レベル1における注意が必要な範囲について(気象台から)	飛騨総合庁舎 (高山市)
R1. 6. 20	○事務局会議 ・立入規制の緩和(木曽町)について ・御嶽山の火山活動状況について(気象庁から)	木曽町役場 (木曽町)
R1. 6. 27	○火山防災訓練の実施(岐阜県側) ・構成機関間の情報伝達訓練 ※参加機関 36機関(有識者を除く。)	各機関執務室
	○火山防災訓練の実施(長野県側) ・構成機関間の情報伝達訓練 ※参加機関 25機関(有識者を除く。) ・防災行政無線等による避難誘導の検証 ※参加機関:木曽町、王滝村、山小屋関係者、パトロール隊員	各機関執務室 登山等周辺施設 (御嶽ロープウェイ 駅、二ノ池山荘、田 の原駐車所周辺等)
R1. 7. 11-12	○御嶽山火山学習教室の実施 ・対象学校 下呂市立上原小学校 ・参加者 7名(5年生) ・内 容 講演(火山の現象、火山防災など)、御嶽山登山	・御嶽濁河高地 トレーニングセンター ・飛騨小坂口 登山道
R1. 7. 31	○事務局会議 ・火山防災訓練の結果について ・立入規制の緩和(王滝村)について ・立入規制の緩和(木曽町)について ・二ノ池周辺における立入禁止区域の変更(木曽町)について ・御嶽山チャレンジについて	飛騨総合庁舎 (高山市)
R1. 8. 22	○現地調査の実施 ・立入規制の緩和に向けて王滝村が取り組む安全対策の整備状況を調査 ※参加機関 13機関、26名	王滝口登山道

年月日	内 容	会 場
R1. 9. 4	○両県合同幹事会の開催（有識者が参加） ・立入規制の緩和(王滝村)について ・二ノ池周辺における立入禁止区域の変更(木曽町)について	木曽合同庁舎 (木曽町)
R1. 9. 9	○立入規制の緩和（王滝村）に対する意見照会 ・照会先 協議会会員 ・照会期間 R1. 9. 9～9. 17 ・意見数 11件	書面
R1. 9. 21-22	○御嶽山チャレンジ 2019 への協力 ・内 容 登山者に小型ビーコンを配布。ビーコンから発信される電波を受信し、登山者の動きや混雑状況の確認を実施	御嶽ロープウェイ駅 中の湯登山道口 五の池小屋
R1. 9. 27	○立入規制の緩和（王滝村）について報告 ※今シーズン中の緩和は行わないことの報告 ※協議会会員からの意見に対する回答は別途報告	書面
R1. 11. 27	○事務局会議 ・火山情報を連絡する際のメモ様式等について ・立入規制の緩和(王滝村)について ・二ノ池周辺における立入禁止区域の変更(木曽町)について	飛騨総合庁舎 (高山市)
R1. 12. 19	○火山防災訓練の実施（長野県側） (主な内容等) ・学習型 ・長野県災害対策本部木曽地方部との合同による開催 ・参加機関 【協議会】 10機関(有識者を除く。) 【地方部】 5機関	木曽合同庁舎 (木曽町)
R1. 12. 24	○事務局会議 ・規約等の改正について ・令和2年度の活動計画(案)について ・二ノ池周辺における立入禁止区域の変更(木曽町)について	木曽合同庁舎 (木曽町)
R2. 1. 29	○両県合同幹事会 ・協議会提出予定の議事について	飛騨総合庁舎 (高山市)
R2. 1. 29	○長野県幹事会 ・令和2年度活動計画(案)について	飛騨総合庁舎 (高山市)
R2. 2. 1	○火山防災学習会の開催 ・地域の小中学生の親子を対象とした講演と実験 ・講師 御嶽山火山マイスター	木曽町文化交流 センター (木曽町)
R2. 2. 14	○第9回御嶽山火山防災協議会 ・長野県側における立入規制の緩和(予定)に係る報告 ・令和元年度協議会活動計画(案)の承認 ・地域防災計画の一部改正 など	木曽合同庁舎 (木曽町)

令和元年度活動報告（御嶽山火山防災協議会構成機関の取組）

○令和元年度に協議会構成機関が実施した御嶽山火山防災対策の取組

1 避難対策

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
二ノ池山荘の整備	木曾町	二ノ池山荘を整備・営業開始し、避難促進施設として運用 (営業期間) 7/1~10/14	R1. 6. 28 ~ R1. 10. 16
パトロール員の配置	木曾町	(隊員数) 20名 (出勤人員) 述べ394名 (活動内容) 登山者への声掛け・道案内、登山道・看板・規制ロープの設置・確認・補修等	R1. 6. 23 ~ R1. 11. 4
防災訓練	木曾町	(内容) 協議会主催の防災訓練に合わせて実施。各山小屋に設置した屋外スピーカーにより機器操作及び動作の確認 (成果) スピーカー設置の山小屋4か所にて実施	R1. 6. 27
防災訓練	木曾町	(内容) パトロール隊員、山小屋との連携を図った情報伝達訓練 (成果) 無線機の活用方法	R1. 9. 1
情報伝達訓練	王滝村	無線機による非常時の情報伝達について確認（王滝村⇄パトロール員）	R1. 7~10
避難壕設置	王滝村	王滝頂上に鋼製のシェルターを1基設置	R1. 6~10
退避舎補強	王滝村	王滝頂上山荘の既存の冬期避難小屋の屋根及び壁（西、北側）をアラミド繊維で補強	R1. 6~10
王滝頂上山荘便所修繕	王滝村	H24年度に改築した、王滝頂上山荘トイレの修繕	R1. 6~10
王滝頂上山荘解体工事	王滝村	王滝頂上山荘の解体工事に着手。実施年度は令和元年度~令和2年度を予定。 解体後は、登山者の避難・休憩施設として、また、パトロール員の活動拠点として噴石対策を施した避難施設に改築する予定。	R1. 9~

<p>王滝口登山道 パトロール員による 巡視</p>	<p>王滝村</p>	<p>(目的) ・ 登山者への安全指導や、登山計画書提出の呼びかけ等の啓発対策を実施 ・ 登山道及び入山規制場所の監視 ・ 非常時に登山者の避難誘導を実施 (内容) 1日2名を午前7時から午後4時まで、登山道入口付近に設置した指導所及び9合目仮設監視小屋に配置して、安全指導及び監視、悪天候時の登山道通行止め等を登山者への周知。 ※パトロール員が、9合目仮設監視小屋に宿泊できる期間は、常駐して安全指導等及び監視を実施。</p>	<p>R1.7~11</p>
<p>登山道（避難路）の 補修等</p>	<p>王滝村</p>	<p>(目的) 登山者がより安全に登山又は避難ができるように登山道を整備 (内容) ・ 王滝口登山道道標付所付近から9合目避難小屋までの登山道の修繕（あかっぱげ付近を重点に実施） ・ 規制区域内の9合目避難小屋から王滝頂上山荘までの登山道の修繕及び、規制ロープの設置</p>	<p>R1.7~10</p>
<p>避難誘導看板 周知看板等の設置</p>	<p>王滝村</p>	<p>(目的) 登山者が平常時の登山及び非常時の避難における距離目安としての的確な移動の判断材料とするため (内容) 距離看板を設置（登山道6箇所）に看板を設置</p>	<p>R1.7.~11</p>
<p>御嶽山火山防災訓練</p>	<p>木曽警察署</p>	<p>(目的) 多くの署員が火山防災対策上、「御嶽山火山防災避難計画」に基づく避難ルート、緊急避難場所、災害対策基本法に基づく規制状況等を確認しておく必要があり、合わせて、各種訓練を実施することで御嶽山火山防災に対する署員の意識を高める。 (内容) 登山訓練、無線通話訓練、携帯電話感度確認、搬送訓練、ガス濃度検知訓練、救急法訓練</p>	<p>R1.7.2 (黒沢口) R1.10.21 (王滝口)</p>
<p>登山道安全確認</p>	<p>木曽警察署 木曽町</p>	<p>二ノ池山荘前で規制されている登山道についての安全確認を目的として、木曽町と合同での登山道確認登山を実施した。</p>	<p>R1.8.27</p>
<p>山小屋の整備</p>	<p>下呂市 岐阜県</p>	<p>山小屋の整備【施工箇所：二の池ヒュッテ】 (事業名) 下呂市二の池ヒュッテ噴石対策改修補助事業 (事業概要) 二の池ヒュッテの噴石対策改修工事（屋根アラミド加工）に対する補助 (総事業費) 11,076千円 うち市補助額 3,692千円（下呂市火山防災対策施設整備費補助金） 県補助額 3,692千円（岐阜県火山防災対策施設等整備費補助金） 国補助額 3,692千円（消防防災施設整備費補助金）</p>	<p>R1.5~11</p>

2 啓発対策

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
御嶽山火山マイスターの認定	長野県 木曾町 王滝村	火山防災に関する知識の効果的な普及・啓発を担う御嶽山火山マイスターの第2期の認定をし、その活動を支援した。	H31.4~
立入規制周知ポスターの掲出	木曾町 王滝村 長野県	御嶽山の規制状況を図示したポスターを登山者、観光客に周知した。 (掲示場所：登山口、道の駅、観光施設等に100枚程度)	R1.6~
登山者向けチラシの作成・配布	木曾町	(内容) 規制緩和の期間中に登山者に対し案内チラシを作成・配布 (配布先) おんたけロープウェイ、道の駅木曾福島、道の駅日義、御嶽神社、御嶽山木曾本宮、木曾おんたけ観光局	R1.7 ~ R1.10
看板、音声による注意喚起	木曾町	(内容) 御嶽山が火山であり登山にはヘルメットが必要であること、また、頂上付近での滞在時間を短くするよう呼びかける看板を設置。 また、同内容の音声案内をおんたけロープウェイ駅舎及び、中の湯登山道入り口の公衆トイレにて繰り返し放送を実施。	R1.7 ~ R1.10
立入規制看板等の設置(増設)	王滝村	・登山道入口と田の原遥拝所付近に、入山規制情報など啓発用看板を設置 ・王滝口登山道からは剣ヶ峰まで入山できない旨の周知看板を新規に設置(3箇所設置) ・王滝頂上までの規制緩和に向けて、規制緩和用の啓発看板を作成	R1.7~11
・御嶽山入山規制警告看板の設置(増設) ・検挙文書の掲示	王滝村	令和元年7月に2名、王滝口登山道から立入禁止区域に許可なく立入ったため、木曾警察署の協力で、入山規制警告看板を増設及び検挙された内容の文書を、登山道入口、田の原遥拝所付近等に掲示。	R1.7~11

御嶽山火山マイスター及び関係機関合同研修会	長野地方気象台	<p>火山観測等に関する知識を充実させるため、御嶽山火山マイスター、関係自治体職員等を対象に合同研修会を実施。 (参加者) 16名 〔御嶽山火山マイスターネットワーク、自治体職員、御嶽山火山研究施設、長野地方気象台、気象研究所〕 (実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 〔火山ガス成分観測〕 「化学成分変化と火山活動の関係、噴気や湧水等の試料採取の際の注意、現場での簡易化学分析、実験室での精密化学分析について」 気象庁気象研究所火山研究部第三研究室 研究官 谷口無我 〔GNSS等の地殻変動観測〕 「火山の地殻変動観測、地殻変動と火山活動の関係、GNSSによる地殻変動の測定原理、GNSS連続観測とGNSS繰返し観測、観測実例について」 長野地方気象台 次長 藤原健治 ・現地研修 鹿ノ瀬温泉（源泉）付近及びけやきの湯付近においてガス採取・分析を実施 	R1. 12. 21
県警ホームページへの掲載	長野県警察本部	県警ホームページ内に「火山災害に備えて」と題した項目を掲載し、継続した啓発活動を実施。	H31. 4～
署員教養	木曾警察署	王滝村職員の御嶽山火山マイスターの稗田実氏に御嶽山噴火災害についての講演を依頼、署員が、御嶽山の特徴、過去の噴火、噴火によって起こりうる現象、平成26年噴火当日の状況、捜索について、安全対策の問題点と改善策等について聴講した。	H31. 4. 24
<ul style="list-style-type: none"> ・安全啓発広報 ・登山指導 	木曾警察署	当署山岳高原パトロール隊による御岳ロープウェイ各駅での登山者に対する安全啓発活動と登山道での登山者指導	R1. 7. 2 (黒沢口) R1. 10. 21 (王滝口)
「自然災害伝承碑」の地形図等への掲載	国土地理院	過去の自然災害を伝承する石碑やモニュメント（自然災害伝承碑）を地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた確かな防災行動による被害の軽減を目指す取組みを開始した。 令和元年度は、剣ヶ峰山頂及び王滝村松原スポーツ公園にある「御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑」の2基をウェブ地図「地理院地図」に掲載した。	R1. 6～
安全登山・遭難防止啓発活動	木曾地区遭対協 木曾警察署 木曾地域振興局	御岳ロープウェイ飯森高原駅において、登山者に対して火山情報の発信、登山での注意点などチラシ等を配布して啓発活動を実施した。	H31. 4. 27 R1. 5. 3 R1. 7. 1 R1. 7. 13

啓発資料配布	岐阜地方気象台	火山に関する知識習得や火山防災の啓発を高めるため、名古屋地方気象台の協力により、「火山への登山のしおり」を配布	R1.5
防災気象情報講習会	岐阜県 岐阜地方気象台	県内自治体防災担当者に対して、噴火警戒レベルの説明および降灰予報など各種火山防災情報の内容について説明	R1.5.16、17
火山防災教育・講演	岐阜地方気象台	火山に関する知識習得や火山防災の啓発を高めるため、岐阜県内の火山について講演。 (講演内容) 火山の基礎知識、噴火警報・予報・情報等が発表された場合や異常時の防災対応について (会場) 岐阜市立加納中学校(6/27)、岐阜県警察学校(7/11)、岐阜県消防学校(8/21・22)	R1.6~8
火山防災たよりの発行	多治見砂防 国道事務所	火山防災たよりVer.21の発行	R1.8
地上デジタル放送	岐阜県警察本部	御嶽山をはじめとした県内の火山が「活火山であること」「登山時には登山届を作成し提出すること」「登山時の装備」及び「噴火時の対応」等について地上デジタル放送で啓発活動を実施。	R1・8・22 ~ R1・8・29
ラジオ・ケーブルテレビでの啓発活動	高山警察署	御嶽山をはじめとした管内の活火山の紹介や噴火警戒レベルの解説、噴火に対する備えや火山を安全に登山するための留意事項について、ラジオ・ケーブルテレビを用いて広報啓発した。	R1.9.17
御嶽山立入規制区域表示看板の整備	下呂市	下呂市が立入規制を行っている二の池ヒュッテ南地点に設置している立入規制看板について、規制状況に合わせるため現地確認及び整備を行った。	R1.6~10
御嶽山(火山)講話	下呂市	火山防災「命を守る訓練」と題して、下呂市立小坂小学校の全生徒を対象に、噴火時の体験談を含め、御嶽山との共存における命の大切さについて講話を実施した。 ○講話 全1日 計122名(生徒を含む学校関係者) 計4名(山岳救助隊員)	R1.10.7

<p>登山者の安全啓発指導 登山届の作成提出指導</p>	<p>御嶽山山岳遭難 防止対策協議会</p>	<p>御嶽山における登山者の安全を確保するため、登山指導員を確保し、その対応策を講ずる。 ①山中における登山指導 ②登山届の作成指導 ③装備品等の確認 ④条例等の周知 ⑤登山道の整備 ○夏山パトロール 全21日 延46名 ○登山指導 全13日 延16名</p>	<p>4/27・5/4 6/1.2.8.15.22 .29 7/6.7.13.14. 18.19.20.21 .27.28.29 8/3.4.7.8.9. 10.11.17.27 .28.31 9/2.3.7.12.13 .14.15.21. 23.25.26.28 .29 10/2.3.12.19. 27 11/4・12/21</p>
<p>防災タウンミー ティングの開催</p>	<p>高山市 岐阜県 岐阜地方気象台</p>	<p>御嶽山付近の住民を対象に、火山の現状や噴火の仕組み、火山防災について理解を深めるため、防災タウンミーティングを開催した。 (参加者) 21名 (内容) 講演会 【講師】岐阜地方気象台 火山防災官 山田基史氏 【演題】乗鞍岳・御嶽山の火山活動の現状と火山防災情報</p>	<p>R1.11.10</p>
<p>火山防災啓発用 DVDの配布</p>	<p>岐阜県</p>	<p>火山防災の啓発用DVDを作成し、高山市役所、飛騨総合庁舎等でのDVD配布と、高山市内のCATVでの放送を各機関へ依頼。</p>	<p>R1.12</p>
<p>火山防災マップ (登山者向け携帯版) の配布</p>	<p>岐阜県</p>	<p>御嶽山火山防災マップ(登山者向け携帯版)を飛騨総合庁舎、各市庁舎、登山口等に配備し、登山者等への配布を継続。</p>	<p>通年</p>

3 その他

実施項目	実施主体	概 要	実施時期
名古屋大学御嶽山火山研究施設の運営支援	長野県 木曾町 王滝村	御嶽山の火山防災対策強化のため、名古屋大学御嶽山火山研究施設の運営を支援 (施設の役割) 御嶽観測研究の拠点、人材育成、防災教育、御嶽山火山マイスターとの連携	通年
御嶽山ビジターセンターの建設	長野県 木曾町 王滝村	御嶽山ビジターセンター建設専門委員会において基本構想(案)を取りまとめて、県・町・村に報告	R2. 1
地域防災計画の改訂 (火山災害対策編)	王滝村	王滝村地域防災計画(火山災害対策編)の改訂	R2. 3
御嶽山現地調査	木曾建設事務所	御嶽山火山防災協議会の現地調査にあわせ、山頂付近観測機器の現地調査を行った。 (参加者) 王滝村役場、建設事務所	R1. 8. 22
土砂災害危険箇所パトロール	木曾建設事務所	王滝村奥名沢及び松越で土砂災害危険箇所の点検を行った。 (参加者) 砂防ボランティア、王滝村役場、建設事務所	R1. 6. 20
木曾地域総合土砂災害対策推進連絡会の開催	木曾建設事務所	御嶽山を含めた木曾地域全体の総合的な土砂災害対策を推進するため、国、県、町村等の各機関で情報共有や意見交換を行った。 (参加者) 25機関、51名	R1. 6. 3
土石流対策及び減災対策の推進	木曾建設事務所	1 御嶽山噴火により堆積した火山灰や降雨・融雪等による土石流対策として、砂防堰堤工2基の整備を行う。 (砂) 濁沢川 王滝村 柳ヶ瀬(平成27年度事業着手) 令和元年度実施内容: 砂防堰堤工 (砂) 白川 木曾町 白川(平成28年度事業着手) 令和元年度実施内容: 管理用道路工 2 御嶽山噴火に起因する土石流等の対策を行うため、緊急対策用資材の製作備蓄等を行う。 御嶽山(平成28年度着手) 令和元年度実施内容: 緊急対策用備蓄コンクリートブロック製作備蓄、土砂災害監視システム監視局更新	通年
県警ヘリによる捜索	長野県警察本部	開山期間中に、県警ヘリによる上空からの捜索を3回実施。	R1. 9. 12 R1. 9. 13 R1. 10. 9

災害対策基本法違反事件の検挙	木曾警察署	立入禁止していた区域に許可なく立ち入った男性4名を災害対策基本法違反で検挙した。	H31.2 ～ R1.11
土石流減災対策工等の実施	林野庁 中部森林管理局 木曾森林管理署	王滝村濁川地区において、平成26年の御嶽山噴火災害、平成30年7月の豪雨災害等で荒廃した山地・渓流や被災した治山施設の復旧を図る工事(6件)を実施。 ① 濁川復旧治山工事：第64号コンクリート谷止工 0.3基 ② 濁川(第65号)復旧治山工事：第65号コンクリート谷止工 0.3基 ③ 濁川災害関連緊急治山工事：山腹工0.22ha ④ 濁沢治山施設災害復旧工事 ⑤ 濁沢2治山施設災害復旧工事：護岸工 6基 ⑥ 濁川復旧治山工事：山腹工0.12ha	①H29.6.10 ～R1.8.31 ②H30.3.28 ～R2.2.28 ③H31.1.24 ～R1.12.27 ④⑤H31.3.27 ～R2.1.31 ⑥R1.6.25 ～R1.11.29
即応態勢の維持	陸上自衛隊 第13普通科連隊	通年を通して、即応態勢維持のための情報収集及び連絡体制の構築を行っています。	通年
地形図の更新	国土地理院	御嶽山火山防災協議会と国土地理院が連携した取組みとして、地形図を更新する作業を進めている。長野県木曾町、王滝村及び岐阜県高山市から経年変化による25000地形図の変化情報を提供いただき、国土地理院では令和元年10月に測量用航空機による空中写真撮影及び現地調査を実施している。 今後は関係機関との調整を図り、ウェブ地図「地理院地図」での公開を順次進めていきたい。	R1.8～
標高データの整備	国土地理院	火山の地形把握や噴火時の災害対策、防災計画や火山研究等に資するため、御嶽山山頂を中心とした「火山基本図データ(基図データ、陰影段彩図データ、写真地図データ)」の整備に向け、令和元年度は詳細な標高データ(1mDEM)の整備を実施した。詳細な標高データは、行政機関や研究機関から要望があれば、令和2年度内から提供していく予定。	R2年度内
御嶽山周辺の地殻変動監視	国土地理院	電子基準点網(GEONET)及びだいち2号(ALOS-2)による干渉SAR技術を用いて地殻変動を監視し、火山噴火予知連絡会等に報告した。	随時
第10回 御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会	多治見砂防 国道事務所	御嶽山の緊急減災対策砂防計画の検討会を実施	R2.1.22
土石流対策及び減災対策工等の実施	岐阜森林管理署	下呂市小坂町濁河温泉周辺で実施している工事について 草木谷災害関連緊急治山工事：コンクリートスリットダム	R.1.7～11

チャオ御岳スキー場口 登山道調査及び歩行 訓練（継子岳）	高山市消防本部	（目的） 登山道の状況把握及び消防無線メリット調査（高山市消防本部山岳救助班隊員9名） （課題） 災害発生時は、山岳救助隊や警察、各関係機関との連携が必須となる。資器材の把握 や取扱いも含め、合同での訓練が必要であると考え。	R1. 8. 9
山岳救助体制強化	下呂市消防本部	御嶽山噴火を契機に結成した山間地救助隊員は救助技術向上のため毎月救助訓練を行っている。 さらに技術及び知識の習得のため先進地である静岡市消防局への視察研修、国立登山研修所の遭 難救助研修会に隊員を派遣した。また、冬季には下呂警察署、御嶽山遭対協救助隊と雪山で合同 訓練を実施し指導を受けるとともに連携強化を図った。	通年